

世界に勝つものづくりのコツ

第2回

中小企業の海外展開を強力にバックアップする「広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP)」。
 ここではMTEPの専門相談員が、よくある質問やサポート内容、海外展開のコツをご紹介します。

照明光源・器具の国際規格についてはお任せください

河本 康太郎 相談員

月曜日担当
 専門：照明、電熱、国際規格

▶ LED製品の現状

従来の蛍光灯などの真空システム光源を組み込んだ照明器具に代わって、LED光源の普及が拡大しています。真空システム光源と違い、LED製品の製造は大規模な設備を必要としないため、多種多様なLED製品が製造されています。その一方で、規格の体系化が十分に行われていないため、メーカーや国によって仕様もさまざまというのが現状です。これは、日本製の照明器具の輸出拡大において、今後解決していくべき課題であるといえるでしょう。

中小企業にとって、これから国際規格にのっとった製品をつくり、海外で販売することは大きな負担です。何から手を付けたらよいかわからないという方も多いのではないのでしょうか。

▶ 私の経歴・お手伝いできること

私は、平成14年に制定公布された光の生体安全性に対する国際規格「IEC 62471-1 : Photobiological safety of lamps and lamp systems」の原案作成に日本代表委員とし

て参加しています。これは、光源からの人体への安全性リスクに関する国際規格として初めて制定されたものです。また、メーカー勤務時代にも、蛍光灯や産業用電気加熱装置の製品仕様、安全仕様などの国際規格の制定・改訂に関わっていますので、規格についても現実的なアドバイスができると思います。

▶ 製品の国際展開にあたって

LED照明器具の商品展開を的確に予測し、それに対応した輸出販売戦略(ビジネスモデル)が構築できれば、輸出拡大の道は開けてくると思います。実際に、私の元に相談に来られた中小企業が、製品を輸出した実績もあります。

LED照明器具の輸出促進のためには解決すべき課題が多いことも確かですが、私たちとしても皆さんの相談から学びつつ、ともに課題解決に取り組み、道を切り開くお手伝いをしたいと思っています。ぜひお気軽にご相談いただければと思います。



河本 康太郎 (こうもと こうたろう)
 プロフィール

(株)東芝・東芝ライテック(株)・(一社)日本電球工業会を経て、(株)テクノローグに勤務。神奈川大学講師(非常勤)、照明学会通信教育講師(照明専門講座)、IEC(国際電気技術標準会議)[産業用電気加熱]日本委員、同[光の安全性とレーザー機器] WG9日本委員、CIE(国際照明委員会)[光生物学と光化学] Associate Director(副部長)を務める。

▶ 事例紹介

フルスペクトル形高演色蛍光灯の製造・販売メーカーである(株)マルトキ様から、韓国への輸出に関連して国際規格準拠の試験法について、ご相談がありました。

相談から規制クリアまでの経緯

- 平成25年6月 蛍光灯を輸出する際、性能表に記載するランプ特性値の測定について、相談に来所。
- 平成25年7月 試験用安定器の製作について支援。
- 平成26年2月 試験用安定器が完成。これを使用したランプ特性試験を支援。(都産技研 実証試験セクター・環境試験室にて実施) 韓国向け製品仕様表用のデータを取得。

【中小企業の皆さんへ】

MTEPの専門相談員としての私のモットーは、「ご相談に来られた方のお話をよく聞くこと」です。特に、LED照明器具については、多種多様な商品の規格体系化が途上であり、中小企業の皆さんも暗中模索の状態でご相談に来られるケースが多いです。そうした皆さんの悩みや迷いに真摯に耳を傾け、内容を丁寧に理解することで、適切な解決策をご提示できるのではないかと考えています。とにかく、照明光源器具の国際規格について分からないことがあれば、一人で悩んで抱え込んでしまわず、ぜひMTEPにご相談ください。

